眞崎　萬次　議員

問 イオン進出に伴う町の対応を聞く
答 農業の振興や雇用確保に最大限の努力をする

問 現国道の町道への移管時期及び移管後の維持管理等の負担について聞く。

建設課長 移管時期については、供用開始時期の平成22年度が考えられる。

維持管理等については、関係市町村と連携し、県と協議を進めて行きたい。

問 バイパスの信号機の設置計画について聞く

建設課長 町道交差点3箇所、「くるるん」の所、上八院から横溝本村へ通じる所、上白垣から上八院へ通じる所に半感応式、押しボタン式信号の設置について警察と協議されており、供用開始までには設置できるように要望している。

問 平成15年3月の一般質問で現国道の歩道設置の要望書を提出し、さらに平成16年に再度一般質問をしたが具体的な動きが全くないが、その要望書の処遇について聞く。

建設課長 平成15年3月13日、柳川土木事務所長へ町長より要望書を提出し、歩道の必要性等道路状況について説明を行った。県としては、現状認識されているが財政状況が厳しく新規事業としてなかなか取り組めない状況であり、また当時工事を行っていた役場周辺の歩道整備を早く進めていくとのことであった。その後においても県議会議員同行による要望を行っている。また土木部要望活動時にも交差点の整備について要望しているところである。

問 八丁牟田交差点改良事業の今後の計画を聞く。

建設課長 安心歩行エリアでの指定を受けているので、補助事業により歩道整備が進められている。

現在の状況は、交差点より東側の用地取得に取り組んでいるところで、本年度は道路北側のクリークの箇所を整備するようになっており、来年度には交差点東側の整備が終わるように計画されている。交差点より西側は、予定箇所の一部測量等をすでに行っているが、本年度に具体的な計画を行う予定になっている。計画が終われば用地取得をお願いしていくことになる。

問 イオン九州の工事着工の時期及びオープン予定はいつなのか。

町長 今年の10月に工事着工し、平成20年4月下旬にオープン予定と聞いている。

問 出店に伴う周辺整備計画の町の負担を聞く。

町長 イオン九州株式会社の負担となる。ただ、施設用地と接しない西鉄側道の町道の歩道等の早期の安全対策整備が必要ですが、この部分は町負担となる。

問 農業及び商工振興に対するイオン側との取り決めはどうなっているか。

町長 農業関係については、平成19年2月に大型商業施設出店に関する協定書をイオン九州株式会社と締結しており、農業振興対策として、地元農産物の販売を積極的に行うものとし、段階的に全国に拡販することもできるとしている。また、商工振興については、テナント出店・地元製品の販売等の問題が考えられるが、商工会とも協議し、町としてできる部分は支援をして行きたいと考えている。

問 農地法の規制により転用許可が困難な地区での許可となっているが、その許可条件として国からの具体的な指示について聞く。

町長 農業振興地域地区内の転用であり、農地法の規則に基づく「地域の農業の振興に関する町の計画」を策定し、地域振興を図る上で必要な雇用の拡大・農業振興に寄与する施設と位置づけている。よって、農業の振興や雇用の50％地元確保等、最大限の努力をしてまいりたい。

出店立地にあたっては、大溝東部地区が土地改良事業経過8年未経過に該当するので、土地改良事業費の国、県の補助金返還が必要である。

問 大木循環センター「くるるん」の2期工事の進捗状況及び時期、事業費ついて聞く。

町長 平成19年度実施計画、平成20年度工事というスケジュールを予定していたが、町民の皆さんの意見を計画に反映させるためにはもう少し時間がかかると判断し事業期間を1年間延長し、今年度は事業計画の内容を精査している。また、2期事業実施設計費として1千万円程度、2期事業工事費として1億9千万円程度を見込んでいる。